

Contents

2015 年 AIPPI リオデジャネイロ総会

PDF 版の[ダウンロード](#)

[AIPPI 本部ホームページがリニューアルされました。](#)

[AIPPI 2015 Rio](#)

(Felipe Claro, President of AIPPI)

AIPPI の年次会合としては初めてのペーパーレス化された国際総会が、2015 年 10 月 10 日から 14 日まで、多様性に富んだ都市リオデジャネイロで開催されました。会場は、美しいバーハ海岸に面し、増築されたばかりの Windsor Barra Hotel & Congressos でした。

リオのすばらしい思い出

(Luiz Henrique do Amaral, Chair Organizing Committee)

リオ総会が終わるのを名残惜しく感じました。80 を超える国々から 1,600 名もの参加者をお迎えできたことは、この上ない喜びであり、世界中から知財従事者が集い、真剣かつハイレベルな議論や検討を行うとともに、交流や楽しい時間を過ごすことができました。遠方からお越しいただき、滞在を楽しんでくださった皆様に、リオ組織委員会より感謝申し上げます。ミラノでまたお会いできるのを楽しみにしています。

リオデジャネイロで採択された決議

(Sarah Matheson, Reporter General of AIPPI)

先月開催された 2015 年リオデジャネイロ総会では、知的財産法に関するさまざまな議題について 4 件の決議が採択されました。

- ・ 議題 244 - 多国間での発明における発明者適格
- ・ 議題 245 - 商標の不正な利用：寄生的行為とフリーライド
- ・ 議題 246 - 図書館、文書館、教育・研究機関に対する著作権保護の例外と制限
- ・ 議題 247 - 営業秘密：取引制限との兼合い、エンフォースメントの側面

採択された決議は、本部ウェブサイトまたは[こちら](#)からご覧になれます。

これらの決議は、各国の当局や関連機関へ配布します。EPO、OHIM、EAPO といった各国・地域の知財庁に加えて、WIPO や WTO へも送付します。各部会におかれては、自国の関連省庁やその他の政府機関へも配布していただき、その際、同決議とともに、より一般的な AIPPI の活動についても、適度に PR していただくようお願いします。また今後、内容的に関連があるパブリックコメントや、AIPPI としての見解を表明すべきその他の機会においても、これらの決議を活用します。

実務プログラム：プレゼンテーション資料をアップしました。

(Sarah Matheson, Reporter General of AIPPI)

リオ総会では、知財分野で注目度の高い多彩なテーマを扱う大規模な実務プログラムが企画され、毎年人気のある **Pharma Day** をはじめ、それぞれの「系統」に分けてパネルセッションが開催されました。

Pharma Day では、医薬商標、オーダーメイド医療、技術移転、政策に基づく特許性審査などに関するセッションが開催されました。また、特許系では **FRAND**、発明の対価、権利付与後の異議申立、植物品種の保護、環境保全技術、また、商標系では団体商標と地理的表示、悪意による登録、新しいタイプの商標などに関するセッションが行われました。工業意匠に関するセッションでは、「形態が機能よりも優先する (**Form over Function**)」という問題について、ミラノ総会の議題に採用され、願わくはこの論争に対する AIPPI としての決議が採択されることを条件とした議論が行われました。さらに、プロバイダ責任に関するパネルセッションや、知財事件における調停の利用に関する興味深い考察なども、高い関心を集めました。

2014 年のトロント総会で初めて実施されて盛況を博した、昼食ミーティング形式の追加的なパネルセッションについては、リオ総会でも 2 件の特別セッションが開催され、一方は「知財制度の継続的な改善」、他方は「アンチパテントの風土におけるイノベーション管理の方法」をテーマとして取り上げました。

これらのパネルセッションには、産業界、知財庁、司法界、学界、法律事務所などから一流の講師陣を迎えることができました。リオ総会のパネルセッション、各講師とそのプレゼンに関する資料・記事は [こちら](#) でご覧になれます。

各 Standing Committee のレポートとプレゼンテーション資料をアップしました。

(Sarah Matheson, Reporter General of AIPPI)

AIPPI 本部の各 Standing Committee の年次レポートは、リオ総会に先立って Reporter

General へ提出され、総会では、オンラインの新たなフォーマットで公開されました。これらのレポートは[こちら](#)からご覧になれます。また、一部の **Standing Committee** は、過去 1 年間の業務に関するプレゼンも行っており、その資料は[こちら](#)からご覧になれます。

2015 年リオ総会における AIPPI Congress News

(AIPPI General Secretariat)

総会開催中に Managing IP 社が発行した記事です。

- ・ [2015 年 10 月 12 日 \(月\)](#)
- ・ [2015 年 10 月 13 日 \(火\)](#)
- ・ [2015 年 10 月 14 日 \(水\)](#)

[Membership Committee のレポート](#)

(AIPPI General Secretariat)

2015 年 AIPPI リオデジャネイロ総会に提出された **Membership Committee** の年次レポートです。

[Communications Committee のレポート](#)

(AIPPI General Secretariat)

2015 年 AIPPI リオデジャネイロ総会に提出された **Communications Committee** の年次レポートです。

[AIPPI リオデジャネイロ総会の写真](#)

(AIPPI General Secretariat)

2015 年 AIPPI リオデジャネイロ総会で撮影された写真です。

[アンケートにご協力ください。](#)

(AIPPI General Secretariat)

今回の 2015 年 AIPPI リオデジャネイロ総会に関するフィードバックをお願いします。

AIPPI Bureau

ユーラシア特許庁の **20 周年国際会議** に出席

(John Bochnovic, Executive Director of AIPPI)

2015年11月10日、ユーラシア特許庁（EAPO）の設立20周年を記念して「グローバルな知的財産保護制度の構築において地域特許庁が果たす役割」と題する国際会議が、モスクワで開催されました。AIPPIからは、Olga Sirakova（Deputy Secretary General）が出席し、250名の参加者を前に「AIPPIと知財保護のハーモナイゼーション」というテーマで講演しました。この会議には、EAPO長官、他の地域特許庁長官に加えて、WIPOのフランシス・ガリ事務局長も講演者として出席していました。

詳細は[こちら](#)をご覧ください。

[TPPの合意内容が判明](#)

（Sarah Matheson, Reporter General of AIPPI）

交渉の秘密性をめぐって大きな議論を呼んだ環太平洋連携協定（TPP）が、7年の歳月を経て2015年10月5日に合意に達したことは、リオデジャネイロ総会で開催した執行委員会Iでも報告された通りです。

最終的な合意文書は、11月4日に正式に公表されました。報道によれば、調印は2016年初めに予定され、その後2年かけて各国で批准される見込みです。

AIPPI Committees

TRIPS 理事会（WTO）における主要テーマの進展状況に関するレビュー（2015年7月15日～11月9日）

（Ivan Hjertman, Member of TRIPS Committee）

AIPPI本部 Standing Committee「TRIPS」の職務の一つは、TRIPS関連の問題の進展状況をBureauに報告するとともに、重要な関連文書を提供することであり、この目的で年1回または2回のペースで、WTOのTRIPS理事会（WTO）における主要テーマの進展状況に関するレビューを定期的に作成してきました。このレビューでは基本的に、TRIPS理事会で協議されているテーマとともに、WTOの一般的なテーマもいくつか対象にしています。最新版のレビューをAIPPI e-Newsに掲載する準備が整いました。進展状況の対象期間は2015年7月15日～11月9日です。

詳細は[こちら](#)をご覧ください。

[Amicus Brief Committee（ABC）の紹介](#)

（Clare Cunliffe, Secretary of Amicus Brief Committee）

AIPPI が提出するアミカスブリーフに関する業務を担当する委員会です。

[第 13 回 - 標章の国際登録に関するマドリッド制度の法的展開に関する作業部会：従属のルールについて議論中](#)

(Elena Molina, Secretary to the Standing Committee on Trademarks of AIPPI)

2015 年 11 月 2 日～6 日、WIPO「標章の国際登録に関するマドリッド制度の法的展開に関する作業部会」が開催されました。マドリッド協定および議定書の加盟国、非加盟の国々（オブザーバー資格）と、AIPPI、INTA、Marques、ECTA などの主要な国際 NGO が参加し、「マドリッド協定および同協定の議定書に基づく共通規則」の修正提案や、国際的な標章登録制度を整備するために法律・運用面で可能な変更について検討しました。

スポーツ用品部門における知的財産権侵害もたらす経済的損失

(Ann-Charlotte Söderlund Björk, GOZZO Advokater HB, Göteborg, Sweden)

スポーツウェアに関する第 3 回目のレポートでは、スポーツ用品部門の分析を紹介します。この部門の商品には、主としてゴルフクラブ、テニスラケット、ボールなどの用具が含まれますが、通常の衣服として着用することも可能なスポーツウェア（サッカーのユニフォームや野球帽など）は含まれません。これらは、衣料・履物の部門に含まれません。

EU 市場に偽ブランドのスポーツ用品が出回ることで、正当な業界は年間およそ 5 億ユーロの収入を逸していると推定され、これは同部門の売上全体の 6.5%に相当し、およそ 2,800 の雇用が失われているという計算になります。

詳細は[こちら](#)をご覧ください。

今後の行事

2016 年 2 月：[AIPPI/INTA セミナー - 意匠：未来に向かって - 2016 年 2 月 29 日～3 月 1 日](#)

2016 年 3 月：[2016 年 AIPPI/ASEAN 地域セミナー - 2016 年 3 月 3 日](#)

2016年3月：[AIPPI イスラエル部会 - From IP to NP - 2016年3月21日～22日](#)

2016年4月：[AIPPI トルコ部会 - 第4回知財法セミナー](#)

2016年4月：[AIPPI フィンランド部会&スウェーデン部会 - AIPPI シンポジウム - 2016年4月21日～22日](#)

2016年7月：[AIPPI 日中韓 Trilateral Meeting - 2016年7月16日～17日](#)

2016年9月：[2016年 AIPPI 国際総会 - 2016年9月16日～20日](#)

2017年10月：[2017年 AIPPI 国際総会 - 2017年10月13日～17日](#)

記事・解説

中国：[SEB 社の特許訴訟が、最高裁が選ぶ2014年の50の典型事例の一つに](#)
(Shuhua Zhang, WAN HUI DA Law Firm & Intellectual Property Agency, Beijing, China)

この特許侵害訴訟では、原告のフランス企業 SEB S.A.が、中国のメーカーKERN による侵害を阻止し、損害賠償も認められました。本件では、クレームが機能や効果で定義されている場合の保護の求め方、および訴訟のリスクを低減するためのクレームの選び方が焦点となりました。

エクアドル：[知識・創造・イノベーションに関する社会経済基本法](#)
(Maria Cecilia Romoleroux / Ian Wall, Corral Rosales Carmigniani Pérez, Quito, Ecuador)

この法案が成立すると、エクアドルにおける特許性、特許性のある対象、特許調査などに対して、広い範囲で影響を及ぼすことになると考えられます。

フィンランド：[ネットワーク PVR サービスの拡大集中許諾制度を導入](#)
(Johanna Lilja, Jori Jokinen and Åsa Henriksson, Roschier, Attorneys Ltd. Helsinki, Finland)

フィンランドでは、ネットワーク PVR サービスに対する拡大集中許諾 (Extended

Collective License) 制度が 2015 年 6 月 1 日に導入されました。この制度は、ネットワーク PVR サービスに関連する法的不安定性の解消と、著作権の問題に対応することを意図しています。

フランス：[名声を得ている商標と酒類の間接広告](#)

(Marie-Elvire de Moro-Giafferri, DUCLOS THORNE MOLLET VIEVILLE (DTMV) & Associés, Paris, France)

共同体商標理事会規則の第 8 条(5)に規定する名声を得ている商標の侵害の問題について、EU 一般裁判所は最近の事件で、公衆による商標どうしの関連付けの要件と、そうした関連付けがもたらし得る損害という面に焦点を当てました。

日本：[新しいタイプの商標の登録が初めて認められる](#)

(窪田法律事務所 柿内瑞絵)

2015 年 4 月 1 日から施行された商標法の改正に基づき、音、色彩、ホログラム、動き、位置などからなる商標について、このほど日本国特許庁が初めて登録を認める旨の判断をしました。この度の判断は、すべての新しいタイプの商標に関する有用なガイダンスとなります。

メキシコ：[商標の異議申立制度を導入](#)

(Herrerias F., Bernardo, Hogan Lovells BSTL, S.C., Mexico, Mexico)

メキシコでは来年初めに、商標の異議申立制度が導入される予定で、知的財産法の改正案が、ちょうど国会に提出されたところです (AIPPI メキシコ部会は、このプロセスに関与しました)。

ポーランド：[産業財産法の改正](#)

(Marta Kawczynska and Marcin Fijalkowski, POLSERVICE Patent and Trademark Attorneys Office and Baker & McKenzie Krzyzowski i Wspólnicy)

特許、意匠、商標の各分野における重要な改正を含む、知的財産制度の新たな枠組みを定めた改正法が、2015 年 12 月 1 日に施行されます。

スイス：[混同の可能性：後発商標の名声は考慮しない - EU 一般裁判所](#)

(Thomas Widmer, LALIVE, Geneva, Switzerland)

EU 一般裁判所は SKY vs SKYPE 事件の判決において、2 つの商標の間に混同の可能性があるかどうかを判断する際に考慮しなければならないのは、後発商標ではなく先行商標の認知度であることを再確認しました (2015 年 5 月 5 日、T-423/12, § 56)。本稿ではこの判決について、欧州法とスイス法の両面から分析します。

英国：[スイスタイプクレームが侵害される条件](#)

(Duncan Ribbons and Maeve Lynch, Redd Solicitors LLP, London, UK)

第二医薬用途クレームに関して、英国では、侵害を回避するために後発医薬品メーカーが取るべき対応については盛んに議論されてきましたが、司法の判断はこれまでありませんでした。Warner-Lambert vs Actavis 事件において、Arnold 判事は実質的に、虫食い後発品（特許対象の適応症に関する記載を除外したもの）を販売するメーカーが、スイスタイプクレームを侵害するのは、きわめてまれな状況に限られるという判断を示しました。

米国：[Google による数百万冊の書籍の無断複製は米国著作権法ではフェアユースに該当 - 控訴審判決](#)

(Uli Widmaier, Pattishall, McAuliffe, Newbury, Hilliard & Geraldson LLP, Chicago, USA)

第 2 巡回区連邦控訴裁判所は、Google ブックスの「検索」および「スニペット」の機能は、Google が著作権者に無断でスキャンした書籍の公正な使用にあたりと判示しました。

各国部会

日本：[日本工業所有権法令集 \(2015 年度版\)](#)

(AIPPI JAPAN 岩井誠二)

AIPPI 日本部会では、海外の方々のために、最新の日本の産業財産権に関する法律等を英訳し発売しております。

寄稿のお願い

e-News に掲載する記事を読者の皆様から募集しています。原稿は最新の[編集方針及びガイドライン](#)に沿ったものにしていただくようお願いします。

このメールが正しく表示されない場合は、[ウェブサイト](#)をご覧ください。

配信を停止したい場合は、[Unsubscribe](#) で手続きを行ってください。

国際知的財産保護協会 (AIPPI)

AIPPI General Secretariat | Toedistrasse 16 | P.O.BOX | CH-8027 Zurich

Tel. 44 280 58 80 | Fax 44 280 58 85

<mailto:enews@aippi.org> | <http://aippi.org/>

今号の作成者 :

Matthew Swinn

作成協力 :

Olga SIRAKOVA, Deputy Secretary General,

Jonathan P. OSHA, Deputy Reporter General and

Ching-Ying CHEN, General Secretariat

Members:

France Côté, Xiaoling DUAN, Erik FICKS, Kim FINNILä, Eléonore Gaspar, Bianca

Manuela GUTIERREZ, Bernardo HERRERIAS FRANCO, Robert W. SACOFF, Ana de

SAMPAIO, Keisuke SOEDA, Richard VARY, Peter WIDMER

免責事項 :

AIPPI は伝達する情報の正確性を期すべくあらゆる努力をしていますが、これらの情報は、特定の資格を有する専門家の助言に代わるものとみなされるものではありません。

AIPPI は、インタビューで表明された意見やウェブの外部リンクを介して提供される情報に対しては一切責任を負いません。